



政策提言オープン委員会の様子

政策提言オープン委員会の様子
 政策提言委員会
 委員長 岸本 雄司

政策提言委員会は5月20日、「提言振り返り検証オープン委員会」を開催しました。政策提言は、YEG活動の中核をなす重要なものですが、成果や課題を改めて検証するのは初めての取り組みです。今回、オープン委員会では、過去に行ってきた5つの提案を振り返りました。

政策提言委員会では5つのチームを作り、各提言の進捗状況などを聞き取り、提言の背景や提言後の状況などを調査しました。テーマごとに、提言によって実現した事業や提言後も動きがないものなどがあり、状況を確認するとともに提言が結実しなかった原因を探りました。一方、今後の展開についての議論や提言書を作成した当時の思い、苦勞を思い返すことで、YEGとしての方向性やあるべき姿を考える機会にもなりました。

街の中で、提言書の持つ価値は無限大です。鳥取の現状を理解し、どのような将来展望を描くか？それを同じ思いを持った方々と連携しどう進めていくか？これらは、われわれにとって非常に重要な事といえます。「シビックプライド」鳥取愛と誇りを胸に、日本唯一の賑わいをつくる。これからの実現に向け、街の将来を明るく導けるような洗練された提言を生み出していきたいと考えています。

政策提言委員会 オープン委員会開催



参加したメンバー

参加したメンバー
 鳥取お城委員会
 委員長 河田 圭太

鳥取お城委員会は6月1日、鳥取城跡・久松山の清掃ボランティア活動「鳥取城跡おそうじ隊」を開催いたしました。昨年に続く2回目の活動で、今年はYEG会員のほか、市民の方や地元の高校生など約200人が参加しました。

清掃活動に先立ち、専門家の講演を聞き、鳥取城跡の歴史と未来について学びました。その後、久松山山頂から鳥取城跡周辺エリアで2時間にわたり清掃を行いました。

この活動は市民の皆さまにボランティア活動に参加してもらうことで、鳥取城跡に対する理解を深め、愛着・誇りを持っていただくことを目的としています。参加者からは「自分の手で鳥取城跡をきれいにできて良かった」「鳥取城跡に興味を持った」といった声が聞かれました。

鳥取城跡に興味のある人はもちろんですが、普段あまり鳥取城跡を意識されてない人、そして次世代を担う若い世代にも、鳥取城跡の魅力や伝えることができ、大きな意義があったと感じています。

今後も鳥取城跡のにぎわい創出と、シビックプライドの醸成に尽力していきたいと思っております。協力いただいた皆さまにこの場を借りて御礼申し上げます。

鳥取城跡清掃ボランティア 「鳥取城跡おそうじ隊」開催



会員とその家族47人が参加

会員とその家族47人が参加
 鳥取お城委員会
 委員長 河田 圭太

会員交流委員会は6月16日、青島のグランピング施設「アースステイ」で、オープン委員会「バーベキューin青島」を開催しました。YEG会員とその家族を含め、47人でバーベキューを楽しみました。

鳥取YEGとゆかりのある青島は、かつてグランピング事業や星取県のCatch The Starなどさまざまな事業を行った場所です。今回OBのグランピング施設を借り、過去の事業を振り返りながら、会員の家族にも活動の理解を深めてもらいました。この「バーベキューin青島」は、現在約200人が所属する会員同士の交流を目的に企画したものです。当日は、高藤会長がシャボン玉セットを持参し、子供たちを楽しませていました。これからさまざまな事業がスタートしていく中で、いまこそ人間関係の構築という部分に力を入れ、団結力を高めていくべきではないかと思っております。同時に日々の活動を見守ってくれている家族にも、感謝の気持ちを伝える機会になったのではないかと感じています。

今後も会員交流委員会では、メンバー同士の絆を深める活動を中心に会員が楽しめるような企画をしていきたいと思っております。

会員交流委員会オープン委員会 「バーベキューin青島」

交代会員(3名)



仙道達也君
 (せんどう たつや)
 事業所名 三井住友海上火災保険
 所属委員会 広報委員会



岩佐翔朗君
 (いわさ かくろう)
 事業所名 鳥取県工務部産業未来創造課
 所属委員会 総務委員会



古川沙也佳君
 (ふるかわ さやか)
 事業所名 東京海上日動火災保険
 所属委員会 広報委員会

鳥取 YEG 通信



TOTTORI
 YOUNG
 ENTREPRENEURS
 GROUP

発行: 令和6年7月15日
 鳥取商工会議所青年部
 広報委員会



令和6年度 会長あいさつ



鳥取商工会議所青年部
 会長 高藤 軌晋
 株式会社 オービット

盛夏の候、皆さまにはますますすぐ健勝のこととお喜び申し上げます。セミの声が聞こえはじめ、夏本番の暑さですが、いかがお過ごしでしょうか。私たちもこの暑さに負けないくらい熱い思いを持って活動してまいります。

6月の活動を振り返ると、1日に行った鳥取城跡清掃ボランティア事業には、鳥取YEG、市民の方々などを合わせ200人を超える参加がありました。鳥取城跡の歴史について学んだ後、鳥取城跡エリアで擬宝珠橋をきれいに磨いたり、看板の塗装をしたり、各所を清掃しました。家族連れや高校生も参加も多く、鳥取城跡に愛着を持っていただく機会になりました。10日には、ビジネスプランコンテストのキックオフとなる企業と高校生のマッチングを行いました。今年で3回目となるこのイベントでは、企業と生徒でチームを作りさまざまな課題に取り組みたいです。16日は、青島で会員間の交流を図るバーベキューを行いました。家族と共に参加いただき、委員会の垣根を越えて親睦を深めることができました。

6月例会では、因幡千本桜フォトコンテスト表彰式を開催しました。県知事賞・市長賞・YEG会長賞・動画大賞の各受賞者を招き、作品への思いなどを話してもらいました。素晴らしい作品を応募いただいた皆さまに、改めて感謝申し上げます。

例会の後半には、北栄町在住で世界的に活躍しているプロカメラマン大塚健一朗さんに講演いただきました。大きな舞台で確実に成果を上げながら、新たなことにチャレンジし続ける姿勢に感銘を受けました。最も印象に残ったのは、「感じてすぐ動くことが『感動』』という言葉で、目からうろこが落ちるようでした。まさに Don't think, do it! です。私たちもどんどん『感動』していきたいです。

私事ですが、実は私も写真撮影が趣味で、YEG活動にカメラを向けることが多々あります。写真は家族や友人仲間などと過ごした一瞬を収めたものに過ぎません。しかし、時がたち一枚の写真を見ながら語り合っと思いは、何物にも代えがたい宝物です。YEG会員の皆さん、これからも積極的に活動に加わり、仲間とたくさん写真を撮ってください。YEGでの数々の経験は、やがてかけがえのない思い出になります。

今年度も3分の1が終わりました。10年、20年後に今年の写真を振り返しながらお互いにたえたえあうことができるよう、残りの8か月も一緒に頑張っていきたいと思います。

6月例会開催

広報委員会は6月12日、とりぎん文化会館で6月例会を開催しました。3月に実施した「因幡千本桜フォトコンテスト」の表彰式を開いたほか、北栄町在住の世界的な写真家による講演を行いました。

今回のフォトコンには140人以上から応募がありました。家族や知人と花見を楽しんでいる応募作品からは、鳥取YEGが40年にわたって続けている植樹活動の意義を、改めて確認することができました。今年度はさらに会員からの投稿を増やそうと、委員会対抗戦も企画。前年の6倍の投稿があり、会員交流委員会が最多の投稿で初優勝を果たしました。

例会の後半では、Give seedの大塚健一朗さんに自らの経験を踏まえ、鳥取から世界一を取るために心掛けたこと、実践したことなどを講演していただきました。大塚さんは写真を通じて心に幸せの種を撒き、世の中を笑顔の花で満開にすることをモットーにしているということでした。

例会後のアンケートからは、満足度の高い回答が多くありました。鳥取YEGで最も長い歴史のある桜の園事業の周知と、鳥取から世界を目指すために必要なマインドを学ぶ機会となったように思います。



講演する大塚さん



表彰式参加者との記念撮影

広報委員会 委員長 大森 誠